

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 健光園	代表者	中谷悟	法人・ 事業所 の特徴	閑静な住宅街の中にある民家改修型の事業所であり、家庭的な温かみを有した環境である。「近所の寄合所を目指して」という理念の通り、「通い」の居心地の良さに強みを発揮してきたが、登録ご利用者の約半数が独居であり、「訪問」での支援にも注力してきている。地域の人たちにとっても、ご利用者にとっても「居場所」となれるよう「丹波橋の家カフェ」を開催している。
事業所名	丹波橋の家	管理者	福島佑毅		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	7人	1人（書面）	1人（書面）	1人	1人	3人	0人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認			<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有について、ミーティングの重要性と新アセスメントシートの説明。 「ポケットくらぶ」と運動会について情報提供あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日のミーティングの開催。 新アセスメントシートの導入。 ご利用者個々の意向を反映した外出企画。 毎月の職員会議での2名のご利用者のケアの検討。 モニタリング訪問やサービス担当者会議に介護・看護職員同行。 職員間の会話の場所の配慮。（ご利用者のプライバシーに配慮する）
B. 事業所の しつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の砂利敷きの安全性。 玄関の鍵が開いていることについて多様な意見あり。 庭の今後の展望。 	<ul style="list-style-type: none"> 庭をボランティアさんとともに畑に作り替えていく。（ご利用者にとっても、地域の人にとっても居心地が良く、集いやすい場所に）
C. 事業所と地域の かかわり			<ul style="list-style-type: none"> 「地域」の解釈が難しい。 社協の広報誌への寄稿の提案。 町内会の「班長」になり、市民新聞を配布することの提案。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、ホームページを更新する。 （可能であれば）社協の広報誌への寄稿。 「丹波橋の家カフェ」の継続と、ご利用者とともに案内チラシを各個配布。 玄関の看板を継続。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> 「ポケットくらぶ」と運動会（体振）への参加。 ご利用者にとっての馴染みの店への外出支援への評価。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会（体振）への参加。 ご利用者にとって馴染みの場所への外出支援の継続。
E. 運営推進会議を 活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> 会議後の取組の継続性。 運営推進会議への多くの職員の参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回会議記録を会議冒頭で確認し、会議後の取り組みを報告。会議出席者から意見をいただく。 介護・看護職員の会議への出席。
F. 事業所の 防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> 職員の通勤への対応も含めた計画に。 風水害への対応も盛り込んだ計画に。 事業所の訓練には地域の人たちも参加してくださっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議への意見をいただき、風水害にも対応した非常災害対策計画を策定する。